



とも たの 偕に楽しむ

ごあいさつ

偕楽園公園を愛する市民の会 会長 湊 正雄

昨年2月から全世界に蔓延した新型コロナウイルスは感染が拡大して、当会の活動や総会も出来ずに早一年が過ぎてしまいました。しかし、役員の方々にはこのような事態の中、月一度はお集りいただき、役員会・情報交換を続けており、その熱意には深く感謝申し上げます。

近年、行政主導による偕楽園公園を取り巻く開発が早いテンポで進んでおります。この状況を踏まえ、本年度は、茨城県・水戸市の関係部・課職員及び関連業種の造園業・観光業・交通業の方々との懇談会を2度開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、時間や参加人数も限られた会議でしたので、必ずしも十分な意思疎通が行われたとはいえませんが、互いの情報を共有することができ、有意義な機会となりました。



とも
「偕に楽しむ集い」紅葉狩りウォーク（11月22日）参加者の皆さん

令和2年度定期総会の報告

新型コロナウイルス感染症拡大により総会は書面議決に

創立(平成18年3月)以来、毎年4月に定例総会を開催し、会員の皆様に1年間の事業及びそれに伴う決算・予算をご審議いただいていた。しかしながら、本年は新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大しており、本県も感染者が増えつつある状況にあったため、県内各行政機関も感染拡大防止のため種々の行事を中止したり延期したりしました。

当会におきましても、定例総会を4月21日開催予定で準備を進めてきましたが、感染が拡大していること及び終息時期が予想できない状況を鑑み、3月30日の役員会で今年度はやむなく開催中止とすることにしました。

その結果、令和2年度の当会の運営は、4月13日(この日は外出が厳しいほどの嵐でしたが、風雨をうけて多くの役員が集まりました)の役員会において承認された総会資料(議事案件)をもとに進めていくことになり、会員の皆様には書面で承認を頂く方法をとることとしました。

コロナウイルス感染拡大の影響は思わぬところまで広がっており、県三の丸庁舎交流サロoonが使用不可となったためそこにある印刷機が使えず、資料印刷が例年のように会員の手によってできなくなってしまいました。

そこで急遽、会員でもある(株)ロシナンテさんをお願いし、印刷業者に依頼して刷り上がりました。封筒詰めは三密を避けて、少人数の役員で会計の浅川さん宅において行いました。その後、会員の皆様には宅配業者により総会資料をお手元にお送りした次第です。

本来ですと総会会場で質疑応答があるところですが、代わりにご意見等を頂けるよう湊会長宛のFAX返信用紙を同封いたしました。現在まで返信を頂くことは無く、議事案件はご賛同頂いたものと理解しております。

次年度は通常の総会が開催できる状況になって欲しいと願っています。

(事務局長 後藤 克己)

「偕楽園なんでも百科」改訂版第3刷を発行しました

この度、偕楽園公園を愛する市民の会では、「偕楽園なんでも百科」(改訂版第3刷)を発行しました。本冊子は、水戸市内の小学校5年生児童全員及び、茨城県内の全ての小中学校・県、市の教育関係部署・公立図書館等の教育文化施設に配布いたします。

発行にあたり公益財団法人いばらき文化振興財団の助成並びに水戸ヤクルト販売株式会社様、茨城トヨタ自動車グループ様、公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団様はじめ多くの企業各位の皆様からのご寄付をいただきました。

ここに厚く御礼申し上げます。



偕楽園なんでも百科表紙



偕楽園なんでも百科7ページ

「偕楽園なんでも百科」改訂版第3刷の編集を終えて

2月12日、最終稿を印刷所に提出した。一気に肩が軽くなった。その器ではない私が委員長になって6ヶ月、ここまでたどり着けたのは、確かな見識を持つ精鋭の委員、監修的立場でご指導いただいた弘道館の小塚のり子主任研究員と水戸市立博物館の関口慶久館長のお陰である。他にも、陰に陽に支えてくださった関係者がいる。感謝いたします。

今回新たにした主な事項は次の4点。①ルビ等の充実 ②偕楽園記の読み下し全文と現代語訳 ③QRコードの記載 ④代表的な固有名詞のローマ字表記。また、新たに差し替えた文・写真も多いが、熟慮を重ね表現を工夫し、あえて残したものもある。今後偕(とも)に考える素材としたい。

2月17日に最終稿を校正をし、2月中の製本を待つのみになった。実質三訂版と言ってもよい。児童生徒は勿論、大人にとっても、価値あるものと自負している。

本冊子が「偕(とも)に学び、偕(とも)に楽しむ」ために有効に活用されることを切望します。

(「偕楽園なんでも百科」編集委員会 委員長 小堀 優)

偕楽園公園のより一層の魅力向上を願って

～ 行政・関係機関・団体と懇談会 ～

茨城県の誇りである偕楽園公園と弘道館の歴史と自然を学び、風致と梅林を守り次の世代に伝えていくこと、新しい魅力を創出することを目的に活動してまいりました。

その一環として私たち「偕楽園公園を愛する市民の会」と茨城県・水戸市の行政担当、関係機関、団体等が一堂に会し、今後進めていく公園の施策や整備の方向性について、お互いの提案や意見・情報を共有する懇談会を開催しました。

令和2年8月26日、水戸市役所3階会議室において、県・市行政・関係機関・団体23名、当会会員16名が会して、事前に届けてあった「偕楽園公園のより一層の魅力向上への提案」報告書を基に懇談をしました。

懇談会では、報告書作成の経緯、内容の概要説明、具体的な提案・要望等説明の後、4ヶ所の観点にしばり「景観と観光」という基本的な取り組みについて率直な意見の交換をしました。

当日は、本会からの質問に対して十分な回答が得られないものもありましたが、偕楽園公園の魅力向上を目指して情報を共有しお互いに協力しあい、今後も継続して懇談会を実施していくことになりました。

(魅力向上委員会 委員長 郡司 敏枝)



茨城県・水戸市・関係機関・団体と懇談会の様子



ばいきょう ようちょう
桜川梅郷橋から窺う梅林を左手に臨む—いつまでも残したい風景

偕楽園公園のより一層の魅力向上を願って

～大切にしたい…園内から見下す景観と千波湖から見上げる景観～

魅力向上委員会は、事業方針に掲げる「偕楽園公園をもっと魅力有る都市公園にしよう」と言う目標の下、活動してきました。今まで積み上げてきた提言書をまとめ、関係行政や企業と話し合いを持ち、理解し合い、新たな発信を続けています。

沢渡川、旧国道6号線沿線、千波湖、西の谷・大工町、4つのエリアを景観、観光に絞り見て廻り、意見交換を持ちました。資料は役員会を経て、関係行政、企業に配布しました。

沢渡川エリアは、偕楽園の地形形成に関わる大切な場、今でも水辺環境が残された生育環境として、偕楽園の動線を果たしています。旧国道6号沿線は台地から坂を下り偕楽園好文亭を一望する貴重な沿線です。千波湖1周は3kmです。1周すると陰陽の自然を体感出来る市民のいこいの場です。湖畔のどこからでも、好文亭を見る事ができるのが、千波湖の魅力です。西の谷・大工町周辺は、上市市街地からの動線として大切なエリアです。今、西の谷は公園整備が進んでいます。偕楽園公園と市街地を結ぶ回遊は、水戸市街地活性化に大きく貢献します。

偕楽園公園の魅力は園内から見下ろす景観と、千波湖周辺から好文亭を見上げる景観が一对である事です。園内外を覆う樹木の剪定を最優先にした公園整備により、茨城県庁25階から好文亭を眺めてみたいものです。

また、観光地として、おもてなしの施設サービスの向上を図りたいです。公園内の電柱や看板などの人工物のデザインを統一する事や、交通の便、駐車場などの整備は永年の懸案でも有り、急がなければならない課題です。

(魅力向上委員会 副委員長 西原 昇治)



偕楽園千波湖



偕楽園四季の原眺望

水戸の梅大使に当会員製作の 梅染マスク贈呈

水戸の梅まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3月1日のオープンとなりました。厳しい状況の中ではありましたが、同日偕楽園内において、梅大使の皆様のさらなる活躍と健康を願って、当会の会員の鹿熊さん、櫻井さんが製作した梅染めのマスクを贈呈しました。偕楽園の紅梅の枝を用いて染めた梅色のマスクは、着物姿の梅大使の皆様にとってもお似合いました。



梅大使の皆さんとマスクを贈呈した当会の役員

活動報告

花パートナー活動報告 “緑の中に花々を”をめぐして 魅力向上委員会

ようちよう
窈窕橋広場前の花壇管理を活動に取り入れて10年を迎えます。宿根草や耐寒性のある花を主として植栽・手入れしている花壇で、活動日は3月～11月の第2月曜日9時半からです。

公園に咲く花は、葉や樹々の緑の中にあるからこそその美しさが際立ちます。赤・黄・ピンクなどの花々は一見きれいですがそれだけを寄せ集めても趣に欠ける花壇になります。私たちはそれに気付き、いつも“緑の中に花々を”を念頭に作業をしています。

冬の寒さに必死で耐え、落葉しても根を地中でしっかり守っている健気さは私たちの生き方にヒントを与えてくれます。花苗の丈を高くする成分にジベレリンという植物ホルモンがあるそうです。ところが、園芸種の花たちは、人間の勝手な都合でこのジベレリンを阻害する薬剤をかけられるとのこと。植物たちの人間との係わりや自衛などを説明した田中修著「植物はすごい」の一読をお勧めします。



作業後の情報交換

ともあれ作業後の汗をぬぐい梅林の緑陰でお茶を飲みながら楽しく情報交換して終了となります。令和2年度はコロナ禍の中でもマスクをつけ密を避けながら、あるいは花壇を気遣うあまり各々一人でひっそり手入れに行ったりして乗り切りました。

公園広場の活用～朝活で元気!!ヨガ&ポスチャーウォーキングで健康作り 魅力向上委員会

ようちよう
毎月第3土曜日、6時半から偕楽園公園窈窕広場で、ヨガとウォーキングの体験会を開催して3年目になります。この活動は、人と人が繋がりながら心身の健康を作り、また偕楽園公園の魅力を知っていただく事を目的に、ヨガ、ウォーキングのインストラクターであり、愛する会の会員としても活動している2名が中心となってスタートしました。

先ず前半は、芝生広場で正しい姿勢で体を整えて、公園内をウォーキング。後半は広場にマットを敷き、ヨガで体の隅々まで伸ばします。朝の新鮮な空気の中、体を動かす時間は心身ともにイキイキとしてくるのを感じます。また、春は梅や桜が咲き誇り、夏は芝生や木々の鮮やかな緑、秋は色とりどりの美しい紅葉、冬はオレンジ色に輝く朝日など、自然の移り変わりはとても新鮮で偕楽園公園の魅力をあらためて知る機会になりました。

昨年、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が出された際は、開催に慎重になりましたが、こんな時こそ健康づくりの機会を継続して行くことが大事なのではないかと考え、休まず開催しました。幸いにも、早朝の公園は人も少なく、お互いに十分な距離を取りながら体を動かすことが出来ます。公園内に一步入れば、清々しい空気や広がる青空に、体と心の緊張が一気に解れるのを感じます。

今後も健やかに楽しく集い、偕楽園公園の魅力を広めて行きたいと思えます。皆さまも偕楽園公園窈窕広場で一緒に体を動かしてみませんか。どなたでも気軽にご参加ください。



朝の新鮮な空気の中でヨガの体験

活動報告

「偕に楽しむつどい」紅葉狩りウォーク今年も楽しめました 交流委員会

今年の紅葉狩りウォークは、11月22日に秋晴れの天気での開催となりました。今回は、新型コロナウイルス感染防止の関係で3密を避けるため、募集人数を40名に限定させていただきました。

ルートは、鎌倉時代初期に創建の見川城跡を辿り、荒人神社を参拝、見川城跡碑を見て多寶院護国寺へ、さらにもみじ谷を経て護国神社で一遊亭跡を見て、玉龍泉を巡り出発場所に戻ります。

10時に窈窕広場を出発。桜川にかかる城址橋を渡ると一気に約20メートルの台地を上りながら土塁の跡を見て本丸跡へ。そこには荒人神社が鎮座しています。手入れが行き届いている境内を抜け、見川城跡の石碑を見て多寶院護国寺へ向かいました。この寺には、9代藩主徳川齊昭公が桜山に約100本の桜の木を植えた時の一本があるとの言い伝えがあります。

徳川ミュージアムの前の坂を下ると左側にもみじ谷が見えてきます。今年は、紅葉が例年より早く咲きましたが、紅葉が大変きれいでした。護国神社では齊昭公の造った休息所跡、一遊亭を見ました。また菊花展が催されており心地しました。護国神社の台地を降りて玉龍泉を見学。ご承知のように一遊亭は好文亭と、

玉龍泉は吐玉泉と対をなすものです。

上ったり下ったりとたくさん歩き窈窕広場に到着したのは12時。楽しいお弁当の時間です。密にならないように点在して配置したシートの上でお弁当を広げ楽しいひと時を過ごしました。

身体を十分休めた後、まずはじめに頭の体操で偕楽園についての〇×クイズを行いました。次に認知症予防体操。さらに、ポスチャーウォーキングで体を楽しく動かした後に、参加者全員で記念写真を撮って偕に楽しむつどいが無事終了しました。



秋晴れの天気に恵まれ、紅葉も最高でした。

参加者の感想から

伊藤マサ子さん：個人ではなかなか行かない場所の説明を受けながら、初めてお逢いする方たちとの散策がとても楽しかったです。四季桜の花も見ごろでしたので京都を思い出しました。昼食も美味しく、会話はすみ、ゲームも楽しく若くなった気分です。企画された方々に感謝いたします。また機会がありましたら参加したいです。

中村光子さん：今回のウォークに参加して、見川城跡を含め、偕楽園周辺は歴史がいっぱい詰まっている地域であることに感心します。余りに身近故井の中の蛙で何も分からない状態でした。紅葉の時期に毎回参加していますが、花より団子で、お弁当と豚汁が最大の楽しみです。企画準備された方に感謝です。細く長く続くことを願っています。

宮寄わか子さん：コロナ禍の中で、いろいろな活動が中止になり、自宅で過ごすことが増えた中、久しぶりに歩いたら、自然はコロナに関係なく進み、もみじ谷の紅葉もとても綺麗でした。青空の下でのお弁当、三密を避け少し離れておしゃべりに心地よい風、そしてゲーム(〇×クイズ)や美しい歩き方を教えて頂き、楽しく過ごせました。

中森美幸さん：コロナ禍で各イベントが中止で、巣ごもりの毎日でしたのでウォークの開催は嬉しいお知らせでした!当日は晴天に恵まれ、鮮やかな紅葉を愛でながら、見川城跡、寺院と時代を遡り見聞を広めました。青空の下、楽しみのお弁当、会話が弾みます。食後のゲームは全員が笑いに包まれ、心身共にリフレッシュの一日でした。

斉藤千恵子さん：拙い俳句を作りました。スタッフの皆様お世話になりました!

- *コロナ禍に 負けずに我も 紅葉狩り
- *秋晴れや 偕楽園で 史跡めぐり
- *もみじ谷 コロナ禍忘れ ウォーキング

活動報告

リニューアル2年目「弘道館 やさしい論語塾」

論語委員会

「弘道館 やさしい論語塾」は、昨年度より内容をリニューアルし、12年目を迎えました。本年度も安岡定子先生、小坪のり子先生、小堀優先生に講師をお願いして、4月から新たなスタートを切る予定でした。しかし、ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年度開催を予定していた論語塾は、ほとんど中止を余儀なくされました。このように、困難な状況下ではありましたが、コロナの落ち着きが見えた12月5日に、安岡定子先生をお迎えしてようやく論語塾が開講



論語を講義する安岡先生



フェイスガードを着用して挨拶する湊会長

できました。当日は、感染予防・拡大防止のため、参加人数をしばらせていただき、三の丸県庁舎A会議室において18名の受講生が、早朝からのみぞれ交じりの寒さにもかかわらず、熱心に安岡先生のお話に耳を傾けておりました。

結果的に令和2年度の論語塾の開催回数は、安岡定子先生の1回のみでしたが、三密を配慮した中での受講生親子共々が楽しんでいる様子にスタッフ一同安堵をいたしました。

偕楽園の梅の木を用いた「梅染め」の試作をしています

広報研修委員会

現在、偕楽園の売店には特色ある工芸品の土産物が見当たらないことから、会員の発案による、同園の梅の木の剪定枝で染色した「梅染め」を会として取り組み、試作を続けています。

昨年12月19日に笠間市在住の染色家、小野三恵子氏を講師に、研修会(水戸ユネスコ協会と共催:会員対象)を開催しました。染め上がった上品な梅色(ピンク色)は気品があり、梅の魅力を改めて感じることができました。

研修会終了後、梅染めの生地を用いてマスクを作る方も出てきました。それらのマスクは、水戸ユネスコ協会主催の「梅染の魅力発見!～偕楽園の梅の木から」展示会(2月15日～3月12日茨城新聞社みと・まち・情報館)に賛助出品され好評をいただきました。

今後も梅染めの研修会を継続して開催し、その成果を偕楽園の魅力向上に結び付けていきたいと願っております。



梅染に取り組む会員たち～水戸市国際交流センター

テレビ「金曜は!いばっチャオ」で当会の活動が紹介されました



偕楽園内でテレビ取材を受ける湊会長

NHK水戸放送局の番組「金曜は!いばっチャオ」の「発見ナビ梅と地域のつながり」というコーナーで、偕楽園公園を愛する市民の会の活動が紹介されました。(令和3年2月26日午前11時～)

インタビューでは、湊正雄会長が「平成梅林整備促進事業が終えたあとも様々な形で偕楽園の良さを発信し続けています」と答え、同園の大切なサポーターとして、会が果たす使命を県民に伝えました。

本年度の活動計画

魅力向上委員会

1. 偕楽園公園の魅力向上を願って研修会の企画
提言の報告書をもとに、研修会の開催、行政・関係団体・企業へ提言の実現に向けて提案と協議の継続をしていきます。
2. 「偕に楽しむ」春のウォーキング
風邪薫る新緑の中、水戸の史跡を散策し、かつ会員との親睦・交流を図ります。
日時：令和5月23日(日) 9時30分～12時 コース:大手門広場～二の丸展示館・黄門神社～角櫓(駅北口)～大銀杏(銀杏坂)～東照宮 場所:窈窕広場梅林前
3. 花パートナー活動
偕楽園にふさわしい花壇の整備につとめています。奮ってご参加ください。
日時：毎月第2月曜日 9時30分～10時30分 雨天の場合は第3月曜日 ※12月～2月は休み
4. ヨガ・ポスチャーウォーキング 当日自由参加歓迎します
日時：毎月第3土曜日 6時30分～7時30分 場所:窈窕広場とその周辺

論語委員会 -あなたの生きるヒントがここにある!孔子の教え「弘道館 やさしい論語塾」-

- 開講 4/3、5/1、6/5、7/3、8/7、9/4、10/2、11/6、12/4 ※1～3月の厳寒期は休講
日時 毎月第1土曜日 10時30分～11時30分 受付10時00分～
※「開講式」4/3(土)のみ10時00分～ 受付9時30分～
会場 弘道館至善堂(4月～7月、9月～12月)／水戸生涯学習センター講座室(8月特別講座)
講師：安岡定子先生(特別講師)※8月7日特別講座のみ
小坏的り子先生(弘道館事務所主任研究員)
小堀優先生(元指導主事・小学校長)
募集定員・参加費 弘道館18名 ひとり500円 ※小学生／幼児は無料
8月7日特別講座60名 ひとり1,000円 ※小学生／幼児は無料
対象 一般市民・子どもと保護者・学生

交流委員会

1. 10月に小石川後楽園及び戸締定邸へ研修旅行
2. 11月中旬に「秋の紅葉狩りウォーク&偕に楽しむつどい」を予定
3. 大名庭園サミットへの参加 広島県縮景園の予定

広報研修委員会 -当協会のホームページ・フェイスブックをごらんください-

偕楽園公園を愛する市民の会では、皆様に私たちの活動をより詳しく知っていただくためにホームページとフェイスブックを作成しております。
※会のこと、現在の活動やこれからの行事、イベントの募集情報はこちら→



Homepage



Facebook

編集後記

コロナ(ウイルス)で始まり、コロナで終わ令和2年度でした。そんな中でも、私たちは細心の注意を払いながら、知恵を絞り、工夫を凝らしながら、熱心にかつ楽しく会の活動を続けてきました。私たちは、これからも想像を超える困難に出会うかもしれません。しかし、多くの人々は、その度困難を乗り越えてきました。来年度もがんばりましょう!(K)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒310-0845 水戸市吉沢町2-22 TEL/FAX：029-247-0438

発行日：令和3年4月 発行：偕楽園公園を愛する市民の会

協力：(株)ロシナンテ お問合せ：会長 湊 正雄